

「カムイの大地 北海道 ～大自然の魅力と火山の息吹」

2021年11月21日（日）実施 JGA 第五支部研修終了レポート

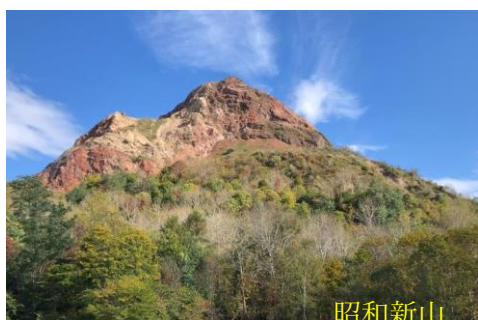
第五支部運営委員

JGA 第五支部では、北海道大学名誉教授の小野有五先生、北海道総合研究機構の廣瀬亘主査をお招きし、表題の研修を行いました。

参加者数はライブ配信 23 名、録画 18 名（JGA 正会員 32 名、非会員 9 名）、委員 5 名の合計 46 名、オンライン開催で、北海道から九州までの各地からご参加いただきました。



研修は三部構成で、一講目は小野有五先生より「最終氷河期からの北海道の自然の



昭和神山

成り立ち：特に地形と植生について」というテーマでお話いただきました。講義の冒頭部分で一枚の山岳風景写真を提示され、この風景を見てお客様に何を話せるか、という問いかけをされました。講義はその答えを探すような内容でした。北海道観光の主たるテーマは自然ですが、北海道のガイドをするためには自然の見方、アイヌ文化の

知識が必要であるということ学びました。

二講目は、地方独立行政法人、北海道総合研究機構の廣瀬亘主査より、「北海道の大地がたどった1億年のストーリーと最近の火山活動」というテーマでお話いただきました。北海道の美しい景観の成り立ちについては壮大なストーリーがありました。火山と火山でない山の誕生の仕組み、北海道のいくつかの活火山の具体的な紹介、洞爺湖有珠山ジオパークについてもお話いただきました。火山は魅力的な観光資源ですが、常に危険と隣り合わせだということも肝に命じていなくてはなりません。お客様を火山にご案内する際に廣瀬主査が常に留意していることは大変参考になりました。



西山山麓火口散策路

三講目は、JGA 第五支部の矢田智佳子会員と柏木由美子会員が「有珠山ガイドングのポイント」というテーマで、クルーズコースに入ることもある「有珠山ロープウェイ」と「西山山麓火口散策路」について動線や説明ポイントをお話しました。

コロナが終息してお客様を北海道にお迎えする日が早く来ることを願っています。